

第3回 医療安全心理・行動学会 学術総会

医療安全によるウェルビーイング（良好状態）の向上

会期

2025年9月27日(土)～28日(日)

会場

東京大学本郷キャンパス/オンデマンド配信

共同総会長

鈴木 高弘

(横浜薬科大学 薬学部)

秋富 慎司

(金沢医科大学 救急医学講座)

堀田 まゆみ

(東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課)

(対象者) 医療安全に関する心理・行動に関心のある方。

医科医療安全、歯科医療安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全、リスクマネジメント、品質管理、ヒューマンファクターと安全工学、リスクコミュニケーション、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計、心理学、行動学研究者、病院経営者、病院長、医療行政担当者、総括医療安全管理者、医科医療安全管理者、歯科医療安全管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、病理医、臨床医、薬剤師、保健師、看護師、訪問看護師などの在宅医療関係者、ケアマネージャー、介護福祉士、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、院内法務担当者、弁護士、研修医、学生、医療産業従事者、その他の医療職の方



目次

ご案内	- 1 -
ごあいさつ	- 4 -
会場のご案内	- 6 -
学会の趣旨・お知らせ（次年度総会）	- 7 -
日程表	- 8 -
報道関係の方へ	- 10 -
展示企業の方へ	- 10 -
交通のご案内	- 11 -
懇親会のご案内	- 11 -
飲食について	- 12 -
座長・演者へのお知らせとお願い	- 13 -
プログラム 9月27日（土）	- 14 -
プログラム 9月28日（日）	- 19 -
医療安全心理・行動コンサルタント 資格制度について	- 30 -
学術雑誌「医療安全の心理・行動」	- 32 -

(オンデマンド配信)

下記期間中にて繰り返し視聴可能です。

2025 年 10 月 3 日 (金) ～ 2025 年 10 月 24 日 (金)

(視聴方法)

- ・オンデマンド配信の視聴方法等は 2025 年 10 月 3 日頃にメールにて参加者へお届けします。
- ・オンデマンド配信はインターネットに接続可能な機器でご視聴頂けます。

※当日のトラブルや演者の都合により、一部ご視聴いただけない場合がございます。予めご了承ください。

(必要な機材)

- ・インターネットに接続して、音声を流すことができる PC 等の電子機器。
- ・PDF ファイルの閲覧ソフト (例:Acrobat Reader、無料版あり)
- ・ブラウザの動作確認は Google Chrome、Microsoft Edge にて行っております。

(電子版抄録集の URL の通知)

参加費支払い済みの方へ電子メールにて事前にお知らせします。

(参加証)

開催 1 週間前頃に電子版参加証を電子メールにてお送りします。
来場の際、各会場入り口では参加証ないし参加費領収書をご提示ください。
会場受付にてネームホルダーをお渡しします。

(領収書)

電子版領収書を電子メールにてお送りします。
PayPal による支払の場合、支払完了時に PayPal より自動送付されるものをお使いください。

(印字版抄録集の配布)

購入希望者に会場でお渡しします。
会期中に会場に来場されない方へは、郵送にてお送りしますので、
宛先の住所とともに事務局へお知らせください。
印字版抄録集の購入をご希望の場合は購読料(2000 円)をお支払ください。

参加登録方法

1. 参加登録期間:

早期参加登録: 2025 年 8 月 29 日 (金) まで

通常参加登録: 2025 年 8 月 30 日 (土) 以降

※下記 URL より学術総会ホームページをご参照の上登録をお願いいたします。

<https://mspo.org/msspb/3rdpsyb/register/index.html>

2. 参加費 (通常参加登録)

通常参加登録 (2025/8/30~9/29)	会員(医師)	会員(医師以外)	非会員(医師)	非会員(医師以外)
会場参加費	10,000円	7,000円	14,000円	11,000円
印字版抄録集	+ 2,000円	+ 2,000円	+ 2,000円	+ 2,000円
懇親会	+ 5,000円	+ 5,000円	+ 5,000円	+ 5,000円
第2回日本医療安全推進学会 学術総会への同時参加	+ 3,000円	+ 3,000円	+ 5,000円	+ 5,000円
オンデマンドのみ	15,000円	12,000円	19,000円	16,000円

- ・ 参加証を発行します。
- ・ PayPal による支払の場合、領収書は支払完了時に PayPal より自動送付されるものをお使いください。
- ・ 参加費には電子版抄録集を含みます。
- ・ 同時開催の【第2回日本医療安全推進学会学術総会】と併せて両方の学術総会に参加の場合は、上記金額に加えて5千円(会員は3千円)の参加費をお支払ください。
- ・ MSPO 国際評議員は内規に則り参加費 10%割引となります。
- ・ 学部生の参加費は1000円です。学生証をご提示ください。

3. 参加費支払:

銀行振込の際、控えや明細等の記録を FAX もしくはメール添付にてお届けください。

2025 年 9 月 26 日以降は会場でのお支払をお願いいたします。

(振込先口座)

銀行名: みずほ銀行

支店番号: 本郷支店 (075)

口座番号: 普通 4197366

口座名義: MSSPB 総会 (エムエスエスピーソウカイ)

4. カード決済(PayPal):

PayPal を利用したカード決済方法となります。アカウントは不要です。

下記 URL よりサイト下方よりお支払をお願いいたします。

<https://mspo.org/msspb/3rdpsyb/register/index.html>

※支払項目をご選択の上、お支払ください。

※誤った項目を選択し、返金をご希望の場合は支払月末迄に事務局へご連絡ください。

第3回 医療安全心理・行動学会学術総会

会期： 2025年9月27日(土)～28日(日)
場所： 東京大学本郷キャンパス

【総会長】

鈴木 高弘 (横浜薬科大学 薬学部)
秋富 慎司 (金沢医科大学 救急医学講座)
堀田 まゆみ (東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課)

【プログラム委員長】

井上 清成 (井上法律事務所)

【プログラム副委員長】

横山 佳代子 (大圃病院 技術課)

【組織委員長】

四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構 理事、国際医療安全推進機構 国際学術理事)

【組織副委員長】

大山 実 (東京都病院薬剤師会ファーマシーマネジメント、株式会社ワイズマン経営企画部)

【実行委員長】

飛田 結実 (国際医療安全推進機構 事務局長)

プログラム委員会： 理事会に同じ

組織委員会： 特別会員、その他

実行委員会： 正副会長、全理事、全代議員、その他

主催

医療安全心理・行動学会

後援

文部科学省

【学会】一般社団法人国際医療安全推進機構、国際医療リスクマネジメント学会、日本医療安全推進学会、

産業・組織心理学会、日本応用心理学会、一般社団法人 日本人間工学会、日本脳神経外科学会、

日本小児科学会、日本眼科学会、日本麻酔科学会、日本農村医学会、

【専門職団体】日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本歯科衛生士会、

一般社団法人日本医療法人協会、公益社団法人全日本病院協会、公益社団法人日本精神科病院協会、

公益社団法人 青森県医師会、愛知県医師会、鳥取県医師会、一般社団法人 徳島県医師会、

青森県看護協会、岩手県看護協会、宮城県看護協会、茨城県看護協会、栃木県看護協会、埼玉県看護協会、千葉県看護協会、東京都看護協会、

富山県看護協会、福井県看護協会、滋賀県看護協会、大阪府看護協会、京都府看護協会、島根県看護協会、広島県看護協会、徳島県看護協会、

熊本県看護協会、千葉県病院薬剤師会、岡山県病院薬剤師会

ごあいさつ

共同総会長挨拶

鈴木 高弘

横浜薬科大学 薬学部



このたび、第3回医療安全心理・行動学会学術総会の共同総会長を拝命いたしました、横浜薬科大学薬学部の鈴木高弘と申します。多くの会員の皆様と共に、本学会の発展に寄与できる機会をいただきましたことを、心より光栄に感じております。

医療安全心理・行動学会は、医療現場における心理的・行動的要素が安全文化にどのように影響を与えるかに焦点を当て、医療の質向上を目指す学術団体です。医療従事者の日常的な行動、チームワーク、コミュニケーション、レジリエンスといった要素は、医療の安全性を確保するために不可欠です。私たちの学会では、医療従事者だけでなく、心理学、行動科学、社会学などのさまざまな分野の専門家と連携し、これらの課題に取り組んでいます。

今回の学術総会では、「医療安全によるウェルビーイングの向上」をテーマに、医療安全のさらなる実現に向けて深い議論が展開されることを期待しております。特に、医療現場における行動改善や組織文化の変革が、患者の安全にどのように結びつくかを皆様と共に考え、これからの医療における心理・行動的アプローチの可能性を追求したいと思っております。

また、本総会は、第2回日本医療安全推進学会学術総会との合同開催となっております。推進学会は、医療事故や災害時の安全対策など、医療現場における安全文化の促進を目指し、医療従事者を中心に幅広く活動されております。

本学術総会が、医療現場で働く皆様にとって有意義な知見の共有と、新たな学びの場となることを願っております。皆様のご参加とご協力を、心よりお願いいたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

共同総会長挨拶

秋富 慎司

金沢医科大学 救急医学講座



第3回医療安全心理・行動学会学術総会に寄せて

この度、第3回医療安全心理・行動学会学術総会の共同総会長を務めさせていただくこととなりました、日本医師会 総合政策研究機構の秋富慎司でございます。本学会の開催にあたり、医療安全と心理学の融合という大切な視点から議論を深める場を提供できることを大変光栄に存じます。

医療現場における安全性の向上は、患者と医療従事者双方の命と健康を守るための使命であり、その実現にはヒューマンエラーや組織的課題への適切な対応が求められます。また、心理学的視点は、医療従事者の行動や意思決定プロセスの理解に不可欠であり、医療の質を高めるための重要なポイントとなる分野です。今回の総会で、医療安全の理論と実践に心理学を適用させ、課題解決を発展させることができると考えております。

特に、医療従事者の心理的負担やストレス管理、患者とのコミュニケーション、さらには安全文化の形成といったテーマでは、専門家からの研究発表や実践の報告が発表される予定となっております。

最後になりますが、本総会の開催に向けてご尽力いただいたすべての関係者の皆様、そしてご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。本総会が医療安全の未来を切り開くきっかけとなるようご参加いただければ幸いです。

共同総会長挨拶

堀田 まゆみ

東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課



この度、第3回日本医療安全心理・行動学会学術総会の共同総会長に携わらせていただくことになりました。私は助産師として生命の誕生に数十年携わり、現在は生命の誕生から終末期までを一つの病棟でケアすることになりました。生命誕生の場では、2つの命を預かるとても重要な役割があり、終末期では患者さん自身の望む最期に支援することにも大きな役割が課せられていると思っています。そのような場面でいつも医療事故に対する考えや、関わる職員へのサポートなど管理者として学習し続ける毎日です。この学会では心理学や行動、コミュニケーションなど様々な分野のスペシャリストの方々からの学びがとても多く、自分の職場でも活用できるものは即、活用していこうと思います。医療安全対策に終わりはなく、私達を取り巻く環境も大きく変化していきます。そんな中、学会を通して学び続けることの大切さを共有できたらと思っています。

井上法律事務所



この度、第3回医療安全心理・行動学会学術総会のプログラム委員を務めさせていただきます。私は弁護士ですので、医療安全心理・行動とウェルビーイング、コンプライアンス又はガバナンス等の法的論点とが関連するプログラムなどを企画・運営・実施できれば、と考えております。共同総会長及び会員の皆様と協力して参りたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

東京大学本郷キャンパス (住所 東京都文京区本郷 7-3-1)

※赤門から入り直進してください



学会の趣旨

本学会は医療安全を推進するために必要となる人的側面の向上のための学術団体で、一般社団法人国際医療安全推進機構が主催する学会の1つです。

医療安全に関する心理・行動研究を普及し、医療安全における人的側面上の課題の解決活動によって、より高度な医療安全文化を有する医療を構築します。医師・看護師・薬剤師などの医療従事者のみならず、心理研究者、行動研究者、コミュニケーション研究者、組織行動研究者、社会学研究者、法曹界など、広く様々な分野の方々と交流を促進します。

(主たる課題)

- ・ 医療安全ウェルビーイング
- ・ 医療での安全行動の推進
- ・ 不安全行動
- ・ アンガーマネジメント
- ・ 患者中心のチーム医療安全
- ・ ポジティブ心理学
- ・ 医療安全におけるレジリエンス
- ・ 医療安全における認知行動・心理
- ・ ジョブストレスと医療安全
- ・ 医療安全におけるコミュニケーション
- ・ 医療安全における教育・相談(カウンセリング・コーチングを含む)
- ・ 患者経験価値(Patient experience(PX))
- ・ 医療安全における患者支援
- ・ 医療安全における倫理・モラル
- ・ 医療安全におけるリーダーシップ・フォロワーシップ
- ・ 医療安全における心理的安定性
- ・ 医療安全におけるインフォームドコンセント
- ・ 医療安全におけるピア・サポート
- ・ 医療安全におけるチーム行動・組織文化
- ・ 医療安全におけるガバナンス
- ・ 医療安全における法的対応
- ・ 医療安全における心理・行動上のその他の課題

次年度 第4回 医療安全心理・行動学会学術総会のお知らせ

会期: 2026年9月の土日2日間
場所: 東京大学本郷キャンパス
ホームページ: <https://mspo.org/msspb/4thpsyb/>

共同総会長: 大浦 裕之 (岩手県立中央病院 副院長 呼吸器外科)
竹村 和久 (早稲田大学文学学術院心理学)
小山 智史 (京都橘大学 看護学部)

組織委員長: 林 香月 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科)

日程表 2025年9月27日(土)

9月27日	招聘・特別・教育講演等 シンポジウム・パネル討論会・一般口演		受付・クローク
会場	第一会場 医学部2号館1階講堂(152人)	第二会場 医学部2号館3階講堂(160人)	医学部2号館1階
9:00			
			8:00～ 受付・クローク開始
9:30	9:20～9:30 開会式		
	SP01 招聘講演 60		企業展示
	後悔を活かす心理学: 後悔研究の医療場面への応用可能性について 演者: 上市 秀雄 座長: 堀田 まゆみ		
10:30	9:30-10:30		
10:40	SL01 共同総会長講演 60	SN02 シンポジウム 60	
	医療現場における安全と危機管理	医療安全の“質”を高める組織づくり ～現場が変わる“しかけ”と“仕組み”の実装戦略～ 演者: 大山 実、伊藤 宏光、渡邊 直樹 座長: 大山 実	
11:40	演者: 秋富 慎司 座長: 鈴木 高弘		
11:50	10:40-11:40	10:40-11:40	
	EL01 教育講演40	EL03 教育講演40	
	ナッジ、プースティングと医療安全	「美」について ― 医療安全における正しさと美しさ ― 演者: 平井 理心 座長: 横山 佳代子	
12:30	演者: 竹村 和久 座長: 羽淵 由子	11:50-12:30	
	昼休み	昼休み	
13:30	12:30-13:30	12:30-13:30	
13:40	SL02 共同総会長講演 60	PN01 パネルディスカッション 60	
	看護ケアとウェルビーイング	出産の各側面におけるインフォームドコンセントの 徹底による医療(助産)安全環境の向上 演者: 古宇田 千恵、荒堀 憲二、平田 二郎、井上 清成 座長: 井上 清成	
14:40	演者: 堀田 まゆみ 座長: 鈴木 高弘		
14:50	13:40-14:40	13:40-14:40	
	EL02 教育講演40	EL04 教育講演40	
	ハラスメントが招く医療安全の危機	医療安全における院内倫理講習会(ACP/DNAR)のはたす役割 演者: 林 香月 座長: 永山 正雄	
15:30	演者: 大浦 裕之 座長: 鈴木 高弘		
15:40	14:50-15:30	14:50-15:30	
	SN01 シンポジウム 80	EL05 教育講演40	
	「リピーター医師」と医療事故調査制度	“困った患者”ではなく“困っている患者”として認知症をとらえる 演者: 小山 晶子 座長: 新村 美佐香	
16:30	演者: 井上 清成、橋本 岳、加藤 拓馬、小田原 良治 座長: 井上 清成	15:40-16:20	
		NP01 一般演題	
17:00	15:40-17:00	1演題10分(質疑応答2分含む) 座長: 小山 智史、田口 由美子 16:30-17:00	
	会員総会(第4回総会のプログラム委員会を兼ねる)		
	17:10-17:40		
18:00			
	18:00-20:00 懇親会 会場: 医学部教育研究棟13階イタリアン カボ・ペリカーノ 会費制: 5千円/人 立食形式(予定)		

日程表 2025年9月28日(日)

9月28日	招聘・特別・教育講演等 シンポジウム・パネル討論会・一般口演		受付・クローク
会場	第一会場 医学部2号館1階講堂(152人)	第二会場 医学部2号館3階講堂(160人)	
9:00			8:00～ 受付・クローク開始
	SP02 招聘講演 60		
	医療安全施策の動向 演者: 揚村 雄介 座長: 秋富 慎司		番号札準備
10:00	9:00-10:00		
10:10			
	PN02 パネルディスカッション 60		
10:40	パンデミックの医療の場への影響 演者: 堤 武也、高橋 峰子、宇治原 誠 座長: 宇治原 誠、四柳 宏	PN03 パネルディスカッション 80	
11:10	10:10-11:10	医療安全管理者自身のウェルビーイングを考える ーわたしたち自身の良い状態とは 演者: 新村 美佐香、河野 由江、中村 須美子 座長: 大原 志歩	
11:20			
	EL06 教育講演40 パンデミックが人々の健康に及ぼしたもの 演者: 四柳 宏 座長: 栗原 慎太郎		
12:00	11:20-12:00	10:40-12:00	
	昼休み	昼休み	
13:00	12:00-13:00	12:00-13:00	
	SN03 シンポジウム 60	PN04 パネルディスカッション 60 医療安全から考える認知症と身体拘束 :高齢者ケアにおける連携の重要性 演者: 佐々木 敦子、坪谷 綾子、吉田 香 座長: 横山 佳代子	
14:00	13:00-14:00	13:00-14:00	
14:10			
	EL07 教育講演40 医事紛争回避に係わる法医学者の視点 演者: 藤田 眞幸 座長: 遠藤 純男	EL08 教育講演 50 不安全行動の防止 演者: 下田 宏 座長: 横山 佳代子	
14:50	14:10-14:50	14:10-14:50	
15:00			
	SP03 合同評議員交流会 60	NP02 一般演題	
	クリニカル・クエスチョンから リサーチ・クエスチョンを探る 演者: 評議員 座長: 鈴木 高弘	1演題10分(質疑応答2分含む) 座長: 稲垣 正巳、大原 志歩	
16:00	15:00-16:00	15:00-16:00	
	閉会式・次期共同総会長御挨拶 (すべてのプログラム終わり次第)		
16:20			

報道関係の方へ

1. 報道機関、出版社の取材記者の方へ

- ・ 会場参加のみ可能です。オンデマンドのみの参加はできません。予めご了承ください。
- ・ 参加費は無料です。参加をご希望の場合はメールにてお問い合わせください。
当日は会場受付にお越しになり、名刺をお渡してください。 【電子メール】 3rdpsyb@mspo.org
- ・ 抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3,000円にて購入いただけます。
- ・ 本学術総会の開催について貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

展示企業の方へ

1. 展示場所

- ・ 東京大学医学部2号館1階ロビーです。
- ・ 各企業の展示は学会から指定された場所を使用してください。配置表を別送します。

2. 展示時間

- ・ 9月27日(土) 9:00 ～ 17:30
- ・ 9月28日(日) 9:00 ～ 17:00

3. 資材の搬入

- ・ 9月26日(金) 18:00以降もしくは9月27日(土)8:00以降に搬入及び設置をお願いいたします。

4. タクシーや自家用車での搬入・搬出の方法

- ・ 会場入り口前に車を停めて搬入・搬出が可能です。
- ・ 東京大学構内へは竜岡門からお入りください。駐車のご負担いただきますようお願いいたします。
(30分まで無料・以降 300円/20分、24時間ごとに最大3,000円)

5. 貸出物

- ・ 展示ブース1小間は、幅180cm×奥行150cmです。以下貸出が可能です。
 - ・ テーブル1台、椅子2脚
 - ・ 電源：壁コンセントがあります。別送の配置表に明記します。利用される場合は10メートル延長コードと電源タップを持参してください。
- ・ その他(バックパネル等)はご自身でご用意ください。

6. 昼食

- ・ 徒歩5分の安田講堂前広場の地下に学食と生協があります。費用は自費負担。

7. インターネット

- ・ 会場ではゲストWi-Fiをお使いいただけます。詳細は下記のリンクよりご確認ください。
- ・ <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/dics/ja/wlan.html>



- 本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩 8 分
- 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩 6 分
- 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩 8 分
- 東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩 1 分
- 春日駅（地下鉄三田線）より徒歩 10 分

日時：2025 年 9 月 27 日（土） 18：00 ～ 20：00
会費：税込 5 千円/人
会場：東京大学医学部教育研究棟 13 階
イタリアン Capo PELLICANO 〈カポ・ペリカーノ〉
HP：<http://www.capo-p.com/>
住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3-1
TEL：03-5841-1527

飲食について

会場内の飲食・喫煙は一切禁止されています。

(昼食)

安田講堂前広場の地下に学生食堂と生協があります。

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後樂園ドームシティには多数の飲食店がございます。(タクシー5分、徒歩15分)

その他飲食店情報は下記をご参照ください。

<https://mspo.org/msspb/3rdpsyb/restaurant/index.html>



令和5(2023)年4月版

座長・演者へのお知らせとお願い

1. 座長の方へ

- ・ ご担当セッションの開始 10 分前までにご入場ください。
- ・ 進行は時間厳守でお願いいたします。アナウンス係の準備はございませんので、時間になりましたら開始してください。

2. 特別講演・招聘講演および教育講演の発表の方法

- ・ 各セッション開始の 10 分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。
- ・ 座長による紹介のため、ご略歴等の資料を会期 1 週間前を目安に事務局へお届けください。

3. シンポジウムの発表の方法

- ・ 講演は 1 人の発表者につき原則 15 分です。座長からの指示がある場合は別途ご対応ください。
- ・ 各セッション開始の 10 分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

4. パネル討論会の発表の方法

- ・ 講演は 1 人の発表者につき原則 15 分です。座長からの指示がある場合は別途ご対応ください。
- ・ 各セッション開始の 10 分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

5. 口演発表の方法

- ・ 一般演題(口演)は 1 題 10 分（質疑応答 2 分含む）です。
- ・ 各セッション開始の 10 分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

6. 発表形式について

- ・ パワーポイント資料の比率は任意ですが、4:3 を推奨します。
- ・ 円滑な運営のため、発表データは前もって事務局までご提出ください。
(提出先: 3rdpsyb@mspo.org、提出期限: 9/21(日))
- ・ 発表資料に変更がある場合は、パワーポイントのデータを保管した USB メモリをご持参ください。
- ・ 発表時のスライド操作につきましては、リモコン操作器具をご用意いたします。
- ・ PC (Windows7 ないし Windows10) 一台をご用意できます。
- ・ マッキントッシュ PC をご持参の場合: 録画準備が必要のため 9/21(日)までに事務局へお知らせください。また、モニター(HDMI)との接続ケーブルをご持参ください。

7. 打合せ室・控室について

- ・ 医学部教育研究棟 2 階第 1 セミナー室、第 2 セミナー室、第 3 セミナー室を使用できます。

8. 学会賞

医療安全ファシリテーション賞(優秀賞)

- … 一般演題から若干数を選考・授与します。選考は参加者の投票を基に、総会長らが選考します。
対象者へ学会機関誌「医療安全の心理・行動」に受賞論文としての寄稿を依頼します。

医療安全ファシリテーション賞(功労賞)

- … 発表演題数に応じて授与します。

プログラム 9月27日

(第一会場) 2025年9月27日

東京大学本郷キャンパス 医学部2号館1階講堂

SP01: 招聘講演

9:30-10:30

テーマ: 後悔を活かす心理学: 後悔研究の医療場面への応用可能性について

座長: 堀田 まゆみ (東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課)

演者: 上市 秀雄 (筑波大学システム情報系・准教授)

SL01: 共同総会長講演

10:40-11:40

テーマ: 医療現場における安全と危機管理

座長: 鈴木 高弘 (横浜薬科大学 薬学部)

演者: 秋富 慎司 (金沢医科大学 救急医学講座)

EL01: 教育講演

11:50-12:30

テーマ: ナッジ、ブースティングと医療安全

座長: 羽渕 由子 (周南公立大学 情報科学部 情報科学科)

演者: 竹村 和久 (早稲田大学 教授、一般社団法人国際医療安全推進機構 国際理事)

SL02： 共同総会長講演

13：40-14：40

テーマ：看護ケアとウェルビーイング

座長：鈴木 高弘（横浜薬科大学 薬学部）

演者：堀田 まゆみ（東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課）

EL02： 教育講演

14：50-15：30

テーマ：ハラスメントが招く医療安全の危機

座長：鈴木 高弘（横浜薬科大学 薬学部）

演者：大浦 裕之（岩手県立中央病院 副院長 呼吸器外科）

SN01： シンポジウム

15：40-17：00

テーマ：「リピーター医師」と医療事故調査制度

座長：井上 清成（医療安全心理・行動学会理事、弁護士）

漫画『脳外科医 竹田くん』と医療事故調査制度

演者：橋本 岳（前衆議院議員、元厚生労働副大臣）

医療安全の推進のための諸政策

演者：加藤 拓馬（厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室室長）

医療事故調査制度の正しい理解・運用

演者：小田原 良治（日本医療法人協会理事、鹿児島県医療法人協会会長）

「リピーター医師」問題解決のための運用改善の要領

演者：井上清成（医療安全心理・行動学会理事、弁護士）

(第二会場) 2025年9月27日

東京大学本郷キャンパス 医学部2号館3階講堂

SN02: シンポジウム

10:40-11:40

テーマ: 医療安全の“質”を高める組織づくり
～現場が変わる“しかけ”と“仕組み”の実装戦略～

座長: 大山 実 (株式会社ワイズマン)

演者: 大山 実 (株式会社ワイズマン)

伊藤 宏光 (株式会社ワイズマン)

渡部 直樹 (株式会社わかば)

EL03: 教育講演

11:50-12:30

テーマ: 「美」について ― 医療安全における正しさと美しさ ―

座長: 横山 佳代子 (医療法人杏仁会 大圃病院)

演者: 平井 理心 (筑波大学附属病院 医療安全管理部 心理士GRM、
国際医療安全推進機構 医療安全高等教育院 客員准教授(医療安全心理学分野))

PN01: パネルディスカッション

13:40-14:40

テーマ: 出産の各側面におけるインフォームドコンセントの徹底による
医療（助産）安全環境の向上

座長: 井上 清成 (井上法律事務所所長)

妊産婦と夫による助産安全環境の向上

演者: 古宇田 千恵 (出産ケア政策会議代表)

(一般の医療者心理に逆行する) 医療介入の極小化による医療（助産）安全環境の向上

演者: 荒堀 憲二 (自然分娩推進協会代表、高山赤十字病院周産期母子・小児医療センター長)

出産の安全環境の向上

演者: 平田 二郎 (医療経営コンサルタント、薬局経営)

医療（助産）安全環境の整備を目指したコンプライアンス意識の向上

演者: 井上 清成 (井上法律事務所所長)

EL04: 教育講演

14:50-15:30

テーマ: 医療安全における院内倫理講習会(ACP/DNAR)のはたす役割

座長: 永山 正雄 (国際医療福祉大学大学院医学研究科・医学部 脳神経内科学)

演者: 林 香月 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 副病院長 消化器内科 教授)

EL05: 教育講演

15:40-16:20

テーマ: “困った患者”ではなく“困っている患者”として認知症をとらえる

座長: 新村 美佐香 (医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室)

演者: 小山 晶子 (名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授)

NP01：一般演題

16:30-17:00

座長：小山 智史（京都橘大学看護学部）

田口 由美子（熊本大学病院）

NP01-1 16:30-16:40

テーマ：医療安全のためのピクトグラムのユニバーサルデザインの構築を目指して

演者：福田 八寿絵（鈴鹿医療科学大学薬学部）

NP01-2 16:40-16:50

テーマ：Aセンターで働く看護師の災害への備えに対する意識調査

演者：齋藤貴紀、小倉佳子、鈴木佳世子、沼尾ゆかり、渡邊周平、阿久津則子
（獨協医科大学日光医療センター）

NP01-3 16:50-17:00

テーマ：二次救急医療を担う中規模病院における終末期患者・家族等に対する
アドバンス・ケア・プランニングに関する看護師の認識

演者：堀越 直也（獨協医科大学日光医療センター 看護部）

プログラム 9月28日(日)

(第一会場) 2025年9月28日

東京大学本郷キャンパス 医学部2号館1階講堂

SP02: 招聘講演

9:00-10:00

テーマ: 医療安全施策の動向

座長: 秋富 慎司 (金沢医科大学 救急医学講座)

演者: 揚村 雄介 (厚生労働省 医政局地域医療計画課
医療安全推進・医務指導室 医療事故調査専門官)

PN02: パネルディスカッション

10:10-11:10

テーマ: パンデミックの医療の場への影響

座長: 宇治原 誠 (国立病院機構 横浜医療センター 院長、附属横浜看護学校 学校長)

四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構 理事)

テーマ: コロナ禍を踏まえた感染対策

演者: 堤 武也 (東京大学医学部附属病院 感染制御部長)

テーマ: 医療現場の修羅場からの脱出と感染対策の進化

演者: 高橋 峰子 (戸田中央メディカルケアグループ 本部 看護局)

テーマ: 新型コロナウイルス感染症第1波における患者対応看護師の不安の分析

演者: 宇治原 誠 (国立病院機構 横浜医療センター 院長、附属横浜看護学校 学校長)

総合討論

EL06 : 教育講演

11:20-12:00

テーマ: パンデミックが人々の健康に及ぼしたもの

座長: 栗原 慎太郎 (長崎大学病院 安全管理部)

演者: 四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構・理事)

SN03 : シンポジウム

13:00-14:00

テーマ: 医療安全教育の実践

座長: 堀田 まゆみ (東海大学医学部附属八王子病院 医療安全対策課)

医療安全におけるチーム行動

～東海大学医学部附属八王子病院転倒転落対策ワーキンググループの取り組み～

演者: 久松 敏昌 (東海大学医学部附属八王子病院 リハビリテーション技術科)

感染管理教育による医療安全文化の強化 ～行動変容と組織レジリエンスを支える教育戦略～

演者: 呉 禮媛 (東海大学医学部附属八王子病院 院内感染対策室)

感染管理認定看護師 感染症看護専門看護師)

EL07 : 教育講演

14 : 10-14 : 50

テーマ : 医事紛争回避に係わる法医学者の視点

座長 : 遠藤 純男 (大和徳洲会病院医療安全管理)

演者 : 藤田 眞幸 (慶應義塾大学医学部法医学教室)

SP03 : 合同評議員交流会

15 : 00-16 : 00

テーマ : クリニカル・クエスションからリサーチ・クエスションを探る

座長 : 鈴木 高弘 (横浜薬科大学 薬学部)

演者 : 評議員

閉会式・次期共同総会長御挨拶

(第二会場) 2025年9月28日

東京大学本郷キャンパス 医学部2号館3階講堂

PN03 : パネルディスカッション

10:40-12:00

テーマ：医療安全管理者自身のウェルビーイングを考える ―わたしたち自身の良い状態とは

座長：大原 志歩（社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会 横浜市東部病院
TQM センター 医療安全管理室 副室長）

「おひとりさま体制」における医療安全管理者の心身の安定に必要なもの
―ウェルビーイングと支え合う仕組みづくり―

演者：新村 美佐香（医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室 室長）

立ち止まる勇気 ―誰かの安心のために、自分を整える―

演者：河野 由江（獨協医科大学病院 医療安全推進センター 看護師長）

担いで守る、心と命 ～神輿と晩酌で支える医療安全管理者のウェルビーイング術～

演者：中村 須美子（公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立総合医療センター
医療安全管理室 主任看護師）

PN04 : パネルディスカッション

13:00-14:00

テーマ：医療安全から考える認知症と身体拘束 : 高齢者ケアにおける連携の重要性

座長：横山 佳代子（医療法人杏仁会 大圃病院）

その拘束、本当に必要ですか？～認知症高齢者の医療安全を支える連携の力～

演者：佐々木 敦子（社会福祉法人あそか会 あそか病院 薬剤科）

認知症患者の苦痛緩和―緩和ケアチームによる多職種連携と心理的安全性の向上―

演者：坪谷 綾子（昭和医科大学薬学部 病院薬剤学講座 講師、
昭和医科大学横浜市北部病院 薬剤部）

何のため、誰のための身体拘束？―医療安全と倫理の調和を目指した多職種チーム活動の紹介―

演者：吉田 香（川崎市立多摩病院 認知症看護認定看護師 主任）

EL08 : 教育講演

14:10-14:50

テーマ: 不安全行動の防止

座長: 横山 佳代子 (医療法人杏仁会 大圃病院)

演者: 下田 宏 (京都大学工学部ヒューマンファクターズ分野)

NP02 : 一般演題

15:00-16:00

座長: 稲垣 正巳 (名古屋掖済会病院 薬剤部)

大原 志歩 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会 横浜市東部病院
TQM センター 医療安全管理室 副室長)

NP02-1 15:00-15:10

テーマ: 大規模民間医療グループでの、組織で取り組む医療安全管理活動

演者: 大坪 まゆ美 (一般社団法人徳洲会医療安全・感染管理部)

NP02-2 15:10-15:20

テーマ: 保険薬局における過誤発生環境・心理的要因の分析

演者: 前田 永都 (株式会社トラストファーマシー)、鈴木 高弘 (横浜薬科大学薬学部)

NP02-3 15:20-15:30

テーマ: 医療安全文化とインシデント・アクシデントレポート提出に関連する要因の検討

演者: 菊池 はじめ、宇野 隼人 (医療法人社団誠和会 長谷川病院)

NP02-4 15:30-15:40

テーマ: 脳卒中患者の転倒リスク認知の過小評価が転倒に及ぼす影響

演者: 大平 雅弘 (植草学園大学 保健医療学部)

NP02-5 15:40-15:50

テーマ: 10歳未満児で頭部顔面打撲・網膜病変を認めた35例の検討

演者: 喜田 裕也 (光生病院 内科)

NP02-6 15:50-16:00

テーマ: 正常分娩の現物給付化に伴う安全心理・行動の変容

演者: 井上 清成 (井上法律事務所)、古宇田 千恵 (出産ケア政策会議代表)



専用溶解液添付製品

GnRHアンタゴニスト(徐放性)/前立腺癌治療剤
(注射用デガレリクス酢酸塩)

薬価基準収載

本剤の効能又は効果、用法及び用量、禁忌を
含む注意事項等情報等については電子化
された添付文書をご参照ください。



ゴナックス[®]皮下注用 80mg
120mg
240mg

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

Gonax[®]

製造販売元(輸入)

FERRING
PHARMACEUTICALS

フェリング・ファーマ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番4号
(文献請求先及び問い合わせ先) くすり相談室
フリーダイヤル: 0120-093-168

ゴナックス[®]、Gonax[®]はフェリング・ファーマB.V.の登録商標です
©2023 Ferring Pharmaceuticals Co., Ltd.

JP-URONG-2300123
2023年11月作成

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬株式会社



Eisai

hvc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていきたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

AFUTUREBECOFFE
Global Japan

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



ブレイクスルーを 患者さんへ

バイエルのミッション「Health for all, Hunger for none
(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」の実現に向けて、
患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Health for all, Hunger for none

BAYER

新しい生きるを、創る。

A new way of life

独自技術で難病に挑み、ひとりの「生きる」に希望をとどける。

ユニークな機能性食品で、みんなの「生きる」を健やかにする。

京都から世界へ。

新しい時代の、新しい生きるを、

わたしたちは、創っていく。



 **日本新薬**
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.



薬価基準収載

選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤一

 **ユリス錠** 0.5mg
1mg
2mg

〔ドチヌラド〕 処方箋医薬品[※]

URECE[®] Tablets 0.5mg・1mg・2mg

注) 注意一医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む
注意事項等情報は電子添文をご参照ください。



販売＜文献請求先及び問い合わせ先＞
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)

製造販売元＜文献請求先及び問い合わせ先＞

株式会社 富士薬品

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル8階
TEL 048-644-3247 (カスタマーサービスセンター)

2025年1月作成 (N6)



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



UCBCares[®] てんかん 医療関係者向けサイト

てんかん診療に役立つ UCBCares[®] てんかんのご案内

Pick up!

話題の最新動画

複雑な脳波判読を全6回の短時間で学べる「てんかんの脳波のポイント」などのコンテンツをご用意しています。



てんかん情報を
更新中

WEBセミナー情報
製品情報
お役立ち資料
疾患情報

会員登録は
こちら



すべてのコンテンツを
視聴するには
会員登録が必要です

<https://hcp.ucbcares.jp/epilepsy>

UCBCares[®] てんかん



 Inspired by patients.
Driven by science.

ユーシービージャパン株式会社

JP-DA-2500120_6 2025年3月作成



Johnson
& Johnson

Respect their Pride

がんであきらめることのない
未来のために

一人ひとりの「自分らしく生きる」に貢献します。

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2024 2024年8月作成

※この写真はイメージであり、人物はモデルです。

AstraZeneca 

What science can do

オンコロジー併用療法

アストラゼネカは、バイオ医薬品と低分子医薬品を併用することで、がん細胞を直接攻撃すると同時に、身体の自己免疫システムを活性化することにより、がん細胞の細胞死を誘発する治療法の開発に取り組んでいます。

免疫細胞への腫瘍の
抑制シグナルを阻害することで
抗腫瘍免疫を増強する抗体

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーB
www.astrazeneca.co.jp/

医療安全心理・行動学会による学会認定の 「医療安全心理・行動コンサルタント」資格制度について (Ver1)

(概要) 下記の全科目を受講し、当該認定試験に合格した医療安全心理・行動学会の会員へ認定証を交付する。
本制度は 2022 年 5 月より実施する。

(目的) 医療安全にかかわる心理・行動の安全に特化した高度な資格制度によって医療安全心理・行動コンサルタントを育成し、医療安全文化をより高度にする。

(対象者) 医療従事者、心理士、行動研究者、コミュニケーション研究者、組織行動研究者、社会学研究者、法曹界などで、かつ医療安全心理・行動学会の会員。

(受講科目)

(科目名)	(授業形式)	(実施日数)	認定試験の有無	備考
医療安全概論	講義	2 日間	無	
医療安全倫理・モラル研修会	講義	1 日間	無	
臨床安全コミュニケーション(基礎編)	講義/実習	連続する 2 日間	有	
臨床安全コミュニケーション(クライシス編)	講義/実習	連続する 2 日間	有	
チーム医療安全研修会	講義/実習	連続する 2 日間	有	
相談・コンサルテーション研修会	講義/実習	連続する 2 日間	有	

・全科目を国際医療リスクマネジメント学会が主催し、医療安全心理・行動学会は後援団体。

(学会認定「医療安全心理・行動コンサルタント」資格の取得要件)

- ・資格申請者は医療安全心理・行動学会の会員であること。
- ・「学会認定の医療安全心理・行動コンサルタント」資格制度の全科目を 3 年以内に取得すること。
- ・「学会認定の医療安全心理・行動コンサルタント」資格を希望する者は、すべての認定合格証をそろえて医療安全心理・行動学会へ申請する。
- ・認定試験を行わない科目では、その受講終了証を以て認定合格書証の代わりとする。
- ・本資格申請時に申請費(1 万円)を納付する。
- ・合格者へ資格認定書を発行します。

(学会認定「医療安全心理・行動コンサルタント」資格の再認定の取得要件)

- ・資格認定の有効期間は資格取得後の 5 年間とする。
- ・再認定を希望する場合は、過去 5 年間にわたる医療安全心理・行動学会学術総会参加証の写しを提出し、かつ活動歴の概要レポートを提出する。
- ・再認定の際には新たな科目を追加する場合がある。
- ・再認定時には申請費(1 万円)を納付する。
- ・合格者へ資格認定書を発行します。

(学会認定「医療安全心理・行動コンサルタント」資格の申請方法)

A) 申請に必要な資料書類(原本の場合はその写し)を用意する。

B) 申請費を下記口座へ振り込む。

銀行支店名: みずほ銀行 本郷支店
イリョウアンゼンシンリ・コウドウガッカイ
口座名義: 医療安全心理・行動学会
口座番号: 普通 4 2 1 6 3 6 0

C) A)の資料と B)の振込控えを以下へ郵送する。

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
一般社団法人 国際医療安全推進機構内
医療安全学心理・行動学会

以上

医療安全の心理・行動

医療安全心理・行動学会機関誌

(印字版) ISSN 2758-2655

<https://mspo.org/msspb/journal/index.html>

発行：医療安全心理・行動学会

「医療安全の心理・行動」編集事務局

医療安全心理・行動学会本部内

(〒) 113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(電子メール) pjournal@mspo.org

本誌が引用される国内の主なデータベース

[国立国会図書館蔵書検索・申込システム](#)

[医学中央雑誌データベース](#)

機関誌「医療安全の心理・行動」刊行案内

医療安全推進機構(MSP0)は医療安全に関する心理・行動課題の解決のために「医療 安全心理・行動学会」を設立しました。その学会機関誌として「医療安全の心理・行動」を刊行し、学会員の研究論文の蓄積を以て医療に貢献します。様々な関連分野の専門家から構成される編集委員を構成し、学会内部に蓄積します。

本雑誌は国会図書館データベース、東大医学図書館経由での全国医学図書館データベースなどにおいて公開しています。

編集の方針

- 1) 投稿論文は査読審査されます。
- 2) 発行は電子版のみです。
- 3) 日本語論文のみを掲載します。英文論文の場合は国際医療リスクマネジメント学会機関誌「Journal of Medical Safety」に投稿ください。
- 4) 氏名、所属、住所および抄録の英文を付けてください。

投稿規定

「医療安全の心理・行動」は医療安全心理・行動学会における研究報告等を受け付ける。
その投稿は以下の規定による。

1. 投稿原稿は総説、原著論文、短報、その他とし、区分はつぎのものとする。
 - 1) 総説：医療安全の心理・行動に関する諸問題を客観的な資料・考察に基づいて広い視点から論じたもの。
 - 2) 原著論文：独創性のある理論的または実証的な研究で、完成度の高いもの。
 - 3) 短報：独創性、緊急性のある萌芽的研究で、発展性の期待できる研究を手短にまとめたもの。
短報は電子版「医療安全の心理・行動」誌にのみ掲載されます。
 - 4) その他：症例報告（医療事故の治療経験など）・各医療機関でのベストプラクティス・トピックス・意見など、編集委員会で必要性を認めたもの。
2. 「医療安全の心理・行動」の原稿は邦文ないし英文とする。
3. 投稿論文は未発表・未掲載のものとする。他雑誌に掲載されたものを重複して投稿してはならない。
4. ヒトおよび動物を対象にした研究論文は、1975 年のヘルシンキ宣言（1989 年改訂）の方針に従い、必要な手続きを踏まなければならない。

ヘルシンキ宣言（1964 年,1975 年, 1983 年,2003 年改訂）、臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省,平成 20 年 7 月 31 日改正）、疫学研究に関する倫理指針（厚生労働省,文部科学省,平成 20

年 12 月改訂)、医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインなどの倫理的指針に従い、必要なものについては施設の倫理委員会、Institutional review board (IRB)の承認を得、その由を論文に記載する。さらに、「個人情報の保護に関する法律」(平成 17 年 4 月) などその時代に遵守すべき法令・省令を遵守する。症例報告などのプライバシー保護に関しては外科系学会協議会による「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に従うこと。動物を用いた研究では、各施設の動物委員会などが定めた基準に従い慈愛深く取り扱い、このことを記載しなくてはならない。臨床試験は、臨床試験登録公開制度システム (UMIN-CTR など) に登録する。ランダム化比較試験 (randomized controlled trial; RCT) では、CONSORT 声明に従う。また、科学研究として公平性・信頼性を確保するため、企業等との利益相反について明確にする必要がある。論文採用決定後は、「学会誌 (Palliative Care Research) 論文発表者の報告事項」に定める事項について「利益相反事項届出書 (学会誌発表者用)」の提出をしなければならない。

5. 投稿原稿の査読、採否および掲載順序などは編集委員会において決定し、編集委員長の名で著者に連絡する。
6. 原則として、投稿原稿は別に定める「執筆要項」に従った原稿によるものとし、和文原稿では英文の抄録ならびに英・和それぞれ 5 語前後のキーワードを原稿につける。
7. 投稿原稿は e-mail にて「医療安全の心理・行動」編集事務局に送付する。その際には、他雑誌に未発表・未投稿である旨を宣言した書面を沿えて、下記宛に送る。また、書面に総説、原著、短報、その他のいずれのカテゴリーとして投稿するのかを明記すること。別途印刷物を編集事務局に 2 部送付する。
8. 掲載された原稿の著作権は医療安全推進機構会に属する。但し、執筆者が使用する場合本会の許諾を必要としない。

投稿先

「医療安全の心理・行動」編集事務局

医療安全心理・行動学会本部内

(〒) 113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(電子メール) pbjournal@mspo.org

「医療安全の心理・行動」の執筆要領

1. 原稿はワープロソフトを用い、横書き、新かな使い、常用漢字の楷書で記載する。句読点および括弧は一字とする。投稿原稿の枚数は図表などを含めて刷り上がり 8 頁以内（1 頁約 2000 字）とする。頁数を超過した場合には、超過分の費用を徴収する。ワープロソフトは Word 等の Windows 系のソフト、あるいは PDF ファイルで送付すること。
2. 外国語の人名、地名、学名はタイプまたはブロック体で記載する。ただし、カタカナでもよい。
3. 和文抄録（400 字以内）及び英文抄録（400 語以内）を作成する。また、氏名、所属、連絡先を英文でも記載する。原著論文の場合には目的、対象と方法、結果、考察および結論として見出しをつけて記載すること。
4. 原稿の 1 頁目には、表題、著者名、所属機関名、別刷請求先、連絡先住所、表および図の数などを記載すること。
5. 図表は必要最小限にとどめること。図は白黒とする。図表は不都合なときには、使用ソフトなどについて編集委員会がその都度指示する。図説明文は別頁とする。
6. 本雑誌の単位符号は原則として SI 単位を用いる。（JISZ8203 参照）
例：1）長さ、面積、体積 km, m, cm, mm, μ m, nm （特殊な分野では=Å）
7. 引用文献は引用順とし、末尾文献表の番号を両括弧数字で記す。雑誌の場合、全著者名.表題.雑誌名.年号：巻数：頁－頁、の順に記す。
 - （1） 田島静,千々和勝己. 初夏に某小学校で発生した小型球形ウイルス（SRSV）による集団食中毒事例. 日本公衆衛生雑誌 2003：50：225-233.
 - （2） Adamson J, Hunt K, Ebrahim S. Socioeconomic position, occupational exposures, and gender: the relation with locomotor disability in early old age. J Epidemiol Community Health 2003;57: 453-455.単行本の場合、編・著者名. 書籍名. 所在地：発行所, 発行年：頁. の順に記す。
引用頁は全般的な引用の場合には省略することができる。
 - （3） 川上剛,藤本瞭一,矢野友三郎. ISO 労働安全・衛生マネジメント規格. 東京：日刊工業新聞社,1998.
 - （4） Detels R, McEwen J, Beaglehole R, Tanaka H. Oxford Textbook of Public Health. The Scope of Public Health. Fourth Edition. Oxford: Oxford University Press, 2002.
 - （5） 川村治子. リスクマネジメント. 高野健人他編. 社会医学事典. 東京：朝倉書店. 2002:98-99.
 - （6） Detels R, Breslow. Current scope and concerns in public health. In: Detels R, McEwen J, Beaglehole R, Tanaka H. Oxford Textbook of Public Health. The Scope of Public Health. Fourth Edition. Oxford: Oxford University Press, 2002: 3-20.
8. 本文の最後に、別紙「利益に関する開示文書」に従って利益相反に関する開示事項を記載する。

「医療安全の心理・行動」編集委員会

編集長	鈴木 高弘（横浜薬科大学 薬学部）
編集委員	栗原 慎太郎（長崎大学付属病院医療安全）
	佐久間 泰司（大阪歯科大学歯学部医療安全）
	田仲 浩平（東京工科大学臨床工学）
	中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター医療安全）
	長島 久（富山大学附属病院医療安全）
	深貝 隆志（昭和大学附属病院泌尿器科、医療安全）

（別紙）利益に関する開示文書

医療安全心理・行動学会誌「医療安全の心理・行動」における利益相反の開示すべき項目

1. 産学連携活動に係る受け入れ額が、1 企業あたり年間 200 万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合
2. コンサルタント、指導、講演、給与としての個人収益が、1 企業あたり年間 100 万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）の場合
3. 産学連携活動に係る個人収益（公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等）が 1 企業あたり年間 100 万円以上あった場合（但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）
4. 上記 1～3 のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合

該当しない場合には「医療安全心理・行動学会誌「医療安全の心理・行動」の定める利益相反に関する開示事項はありません。」と論文の末尾に記入する。

該当する場合には「医療安全心理・行動学会誌「医療安全の心理・行動」の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します、（企業名）から（〇〇円）。」と論文の末尾に記入する。

なお、個人収益の場合は、前年の 1 月 1 日から 12 月 31 日までとする。ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に係る研究の場合は、前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの期間でも可とする。

以上

医療安全心理・行動学会のホームページ

<https://mspo.org/msspb/>

第3回医療安全心理・行動学会学術総会事務局

一般社団法人 国際医療安全推進機構内

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL: 03-6801-6922 FAX: 03-6801-6987

Email: 3rdpsyb@mspo.org